rsyncを使用したファイルとディレクトリのコピー

概要

rsyncツールを使用すると、ファイルをローカルまたはリモートでコピーできます。rsyncは一方向性であり、一方向にのみファイルをコピーできます。

目的

この記事では、rsyncツールの概要と、ローカルおよびリモートでファイルをコピーするための基本的な使用方法を説明します。

所要時間

rsyncツールの基本的な使用方法を理解するには、最大20分かかります。

目標

rsyncの基礎的な理解を深め、ファイル転送に使用する方法を習得します。

要件

ファイルのコピー元とコピー先のアクセス権限。

発行日: 01/10/2026

目次

1 rsyncの概念 3

2 rsyncの基本的な使用方法 3

3 rsyncを使用したファイルとディレクトリのローカルでのコピー 5

4 rsyncを使用したファイルとディレクトリのリモートでのコピー 6

5 rsyncサーバの設定と使用 6

6 rsyncを使用したファイルとディレクトリ削除と更新 9

7 rsyncのトラブルシューティング 10

8 法的事項 11

A GNU Free Documentation License 11

1 rsyncの概念

rsyncツールを使用すると、ローカルおよびリモートでファイルを転送およびコピーできます。rsyncは一方向性です。ファイルを一方向にコピーし、データの同期は行いません。rsyncは、ファイル内の全コンテンツを転送するのではなく、ファイル内の変更点のみを移動させることで、コピーされるデータ量を最小限に抑えます。そのため、低速ネットワーク接続でのデータ転送をサポートします。

rsyncを使用して大きなファイルをコピーする場合、変更の検出には特定の処理能力が要求されます。そのため、コピー元とコピー先両方のマシンにRAMなどのリソースが十分あることを確認してください。

rsyncは、わずかな変更しかない大量のデータを定期的に転送する必要がある場合に使用します。これは、バックアップを扱う際に便利です。また、rsyncは、Webサーバのディレクトリツリー全体を格納するステージングサーバをDMZ内のWebサーバにミラーリングする場合にも便利です。

この記事には、rsyncを使用してローカルおよびリモートでファイルをコピーする例が含まれています。このドキュメントでは、rsyncサーバの設定方法と使用方法についても説明します。

2 rsyncの基本的な使用方法

アクセス権限と書き込み権限のあるマシンであればどのマシンでも、rsyncを使用できます。

次の例に示すように、ファイルをコピー元からコピー先にコピーします。

```
> rsync [OPTION] SOURCE [SOURCE]... DESTINATION
```

複数のSOURCEエントリを指定でき、SOURCEとDESTINATIONプレースホルダにはパス、URL、またはその両方を指定できます。

以下に、ファイルコピーの使用例をいくつか示します。

- ```
  > rsync -av /directory1/ /destination/
  ```

  上記の例では、ディレクトリの後の末尾のスラッシュは、ディレクトリそのものではなく、ディレクトリの内容を示しています。この場合、/directory1の内容のみが/destinationにコピーされます。

- ```
  > rsync -av /directory1 /destination/
  ```

上の例では、ディレクトリ`/directory1`が`/destination`にコピーされ、結果は`/destination/directory1/`になります。

- ```
  > rsync -av example1.txt example2.txt /destination/directory/
  ```

  上記の例では、`example1.txt`と`example2.txt`のファイルをコピー先のディレクトリにコピーしています。

よく使用される`OPTIONS`を以下に示します。

- `-V`
  詳細な出力テキストを表示します。
- `-a`
  アーカイブモード。ファイルを再帰的にコピーし、タイムスタンプ、ユーザ/グループの所有権、ファイルパーミッション、およびシンボリックリンクを保持します。
- `-z`
  転送データを圧縮します。
- `-n`あるいは、`--dry-run`
  変更を加えずに試運転を行います。
- `-r`
  ディレクトリを再帰的にコピーします。
- `--progress`
  転送中の進捗状況を表示します。
- `-b`
  データ同期中にバックアップを取ります。
- `-h`
  出力の数値を人間が読める形式で表示します。
- `-e`
  リモート転送の場合、SSHプロトコルを使用するようにrsyncに指示します。
- `-q or --quiet`
  rsyncコマンドとオプションの出力を抑制します。
- `--version`
  ```

rsyncのバージョン番号を出力して終了します。

ファイルを圧縮してローカルにコピーする

```
> rsync -avz example1.txt example2.txt /destination/
```

`-a` アーカイブモード
`-v` 詳細
`-z` 転送中にデータを圧縮

ディレクトリを圧縮してコピーする

```
> rsync -avz /sourcedirectory/ /destinationdirectory/
```

`/sourcedirectory/`の内容を圧縮して転送します。

圧縮機能付きリモートファイル転送

```
> rsync -avz example1.txt user@remote_host:/remote/destination/
```

データを圧縮しながら、`example1.txt`をSSH経由でリモートマシンに転送します。

圧縮機能付きリモートディレクトリ転送

```
> rsync -avz /sourcedirectory/ user@remote_host:/remote/destination/
```

データを圧縮しながら、`/sourcedirectory/`をSSH経由でリモートマシンに転送します。

3　rsyncを使用したファイルとディレクトリのローカルでのコピー

コピー先への書き込み権限があれば、rsyncを使用して同じマシン内でファイルをコピーできます。

ファイル`backup.tar.xz`を`/var/backup/`にコピーするには、コマンド**`rsync -avz backup.tar.xz /var/backup/`**を使用します。

ファイル`backup.tar.xz`が`/var/backup/`にコピーされ、絶対パスは`/var/backup/backup.tar.xz`になります。

4 rsyncを使用したファイルとディレクトリのリモートでのコピー

rsyncを使用して、あるマシンからリモートマシンにファイルをコピーできます。コピー元とコピー先の両方のマシンにrsyncがあり、SSH経由でリモートマシンに接続していることを確認してください。

1つのファイルをマシン上のディレクトリからリモートマシン上の`/var/backup`ディレクトリにコピーするには、次のコマンドを使用します。

```
> rsync -avz example1.txt user@remote_host:/var/backup/
```

注記: 末尾のスラッシュ

`/var/backup/`ディレクトリの後に末尾のスラッシュを必ず追加してください。スラッシュを挿入しない場合、ファイル`example1.txt`は、ディレクトリ`/var/backup/`の中ではなく、`/var/backup`ファイルにコピーされます。

絶対パス`/var/backup/example1.txt`でコピーされたファイルを確認します。

ディレクトリ`source/`とその内容をディレクトリ`/var/backup/`にコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
> rsync -avz /source/ user@remote_host:/var/backup/
```

絶対パス`/var/backup/source/`でコピーされたディレクトリを確認します。

5 rsyncサーバの設定と使用

rsyncサーバは、ファイルの同期、自動バックアップ、および集中ストレージを可能にします。rsyncは、デフォルトポート873で着信接続をリスンするデーモン`rsyncd`として実行できます。このデーモンは`copying targets`を受信できます。

手順 1: RSYNCサーバの設定

> rsyncデーモンの設定ファイルは、メインファイルと、バックアップターゲットを格納する特定のモジュールに分割されます。こうすることで、後で他のターゲットを簡単に追加できます。グローバル値は`/etc/rsyncd.d/*.inc`ファイルに保存できます。一方、モジュールは`/etc/rsyncd.d/*.conf`に配置します。

次に、バックアップターゲットを持つrsyncサーバを作成する方法を説明します。このターゲットを使用してバックアップを保存できます。rsyncサーバを作成するには、以下の手順を実行します。

1. ローカルマシンで、すべてのバックアップファイルを保存するディレクトリ`/var/backup`を作成します。

```
> mkdir /var/backup
```

2. 所有権を指定します。
この例では、グループ`users`のユーザ`tux`がディレクトリを所有しています。

```
> chown tux.users /var/backup
```

3. `rsyncd`デーモンを設定します。

   a. ディレクトリ`/etc/rsyncd.d/`を作成します。

```
> mkdir /etc/rsyncd.d/
```

   b. メイン設定ファイル`/etc/rsyncd.conf`を作成し、以下の行を追加します。

```
log file = /var/log/rsync.log ❶
pid file = /var/run/rsync.pid ❷
merge /etc/rsyncd.d ❸
include /etc/rsyncd.d ❹
```

   ❶ `/var/log/rsync.log`はrsyncがログを書き込む場所です。

   ❷ `/var/run/rsync.pid`は、実行中のrsyncデーモンインスタンスのPIDを含むファイルです。

   ❸ グローバル値を`/etc/rsyncd.d/*.inc`ファイルからメイン設定ファイルにマージします。

   ❹ モジュール(またはターゲット)を`/etc/rsyncd.d/*.conf`ファイルからロードします。これらのファイルにはグローバル値への参照を含めないでください。

4. 次の行を使用して、ファイル`/etc/rsyncd.d/backup.conf`内にモジュールまたはバックアップターゲットを作成します。

```
backup.conf: backup module
  [backup] ❶
     uid = tux ❷
     gid = users ❸
```

```
    path = /var/backup ❹
    auth users = tux ❺
    secrets file = /etc/rsyncd.secrets ❻
    comment = Our backup target ❼
```

上記の例では、以下のようになります。

❶ `[backup]`はバックアップターゲットです。バックアップターゲットには任意の名前を使用できます。ターゲットには用途に応じた名前を付け、`*.conf`ファイルと同じ名前を使用できます。

❷ `uid = tux`はファイル転送の実行時に使用されるユーザ名またはグループ名を指定します。

❸ `gid = users`はバックアップを保存するパスを定義します(手順1から)。

❹ `path = /var/backup`はバックアップを保存するパスを定義します(手順1から)。

❺ `auth users = tux`は許可されているユーザのカンマ区切りリストを指定します。最も単純な形式では、このモジュールへの接続を許可されているユーザ名が含まれます。この例では、ユーザtuxのみが許可されています。

❻ `secrets file = /etc/rsyncd.secrets`はユーザ名とプレーンパスワードが記述された行が含まれるファイルのパスを指定します。

5. 次の内容で`/etc/rsyncd.secrets`ファイルを作成し、`PASSPHRASE`を置き換えます。

```
# user:passwd
tux:PASSPHRASE
```

6. rootのみがこのファイルを読み込めるようにします。

```
chmod 0600 /etc/rsyncd.secrets
```

7. 次のコマンドを使用して、`rsyncd`デーモンを起動して有効にします。

```
> systemctl enable rsyncd
> systemctl start rsyncd
```

8. リモートマシンで、`rsync`サーバへのアクセスをテストします。

```
> rsync jupiter::
```

以下のような応答が表示されます。

```
backup Our backup target
```

上記の応答が表示されない場合は、設定ファイル、ファイアウォール、およびネットワーク設定を確認してください。
上記の手順でrsyncサーバが作成されたので、このサーバを使用してバックアップを保存できます。この例では、すべての接続を示すログファイルも作成されます。このファイルは/var/log/rsyncd.logに格納されます。これは転送のデバッグに役立ちます。

9. バックアップターゲットの内容を一覧にするには、ローカルマシンで次のコマンドを使用します。

```
> rsync -avz jupiter::backup
```

このコマンドを入力すると、サーバのディレクトリ/var/backupにあるファイルがすべて一覧表示されます。このリクエストはログファイル/var/log/rsyncd.logにも記録されます。

10. 現在のディレクトリをrsyncバックアップサーバにコピーするには、ソースディレクトリを指定します。ソースディレクトリが現在のディレクトリの場合は、.を使用します。

```
> rsync -avz . jupiter::backup
```

デフォルトでは、rsyncは実行時にファイルとディレクトリを削除しません。削除を有効にするには、追加オプション--deleteを記述する必要があります。新しい方のファイルが削除されないように、代わりにオプション--updateを使用することもできます。競合が発生した場合は、手動で解決する必要があります。

6 rsyncを使用したファイルとディレクトリ削除と更新

コピー先への書き込み権限があれば、rsyncを使用して同じマシン内でファイルをコピーおよび同期できます。コピー後にファイルまたはディレクトリを削除することもできます。

ファイルexample1.txtとexample2.txtを/source/directory/から/destination/directory/にコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
> rsync -av --update /source/directory/ /destination/directory/
```

rsyncコマンドは、/destination/directory/のファイルexample1.txtとexample2.txtがコピー元ファイルより古い場合、それらを更新します。コピー先のバージョンが新しい場合、ファイルは上書きされません。また、/source/directory/にあるその他の新しいファイルやディレクトリはすべて、/destination/にコピーされます。

既存のファイルをコピーし、コピー先のディレクトリに存在しないファイルを削除するには、次のコマンドを実行します。

```
> rsync -av --delete /source/directory/ /destination/directory/
```

このシナリオでは、コピー元とコピー先の両方のディレクトリにexample1.txtとexample2.txtが含まれています。/destination/directoryには、余分なファイルexample3.txtが含まれています。

rsyncコマンドは、ファイルexample1.txtとexample2.txtを/source/directory/から/destination/directory/にコピーまたは更新します。このコマンドはまた、/source/directory/に存在しないため、/destination/directory/からファイルexample3.txtを削除します。また、/destination/directory/のディレクトリ構造も、/source/directory/に一致するようにクリーンアップされます。

7 rsyncのトラブルシューティング

ファイルまたはフォルダのコピーは、いくつかの理由により失敗する可能性があります。ファイルコピーを実行するために必要な権限とリソースがあることを確認してください。

考えられるトラブルシューティング方法を以下に示します。

- rsyncが最新バージョンであることを確認します。ファイルまたはディレクトリをリモートで転送するには、転送元と転送先のマシンの両方にrsyncがインストールされていることを確認します。
- 必要なrsyncアクセス権限があることを確認します。
- リモートでファイルをコピーする場合は、正しいホスト名を指定していることを確認します。
- デーモンモードでrsyncを使用している場合は、rsyncサービスが実行されていることを確認します。

8 法的事項

Copyright© 2006–2026 SUSE LLC and contributors. All rights reserved.

この文書は、GNUフリー文書ライセンスのバージョン1.2または(オプションとして)バージョン1.3の条項に従って、複製、頒布、および/または改変が許可されています。ただし、この著作権表示およびライセンスは変更せずに記載すること。ライセンスバージョン1.2のコピーは、「GNU Free Documentation License」セクションに含まれています。

SUSEの商標については、https://www.suse.com/company/legal/ を参照してください。その他の第三者のすべての商標は、各社の所有に帰属します。商標記号(®、™など)は、SUSEおよび関連会社の商標を示します。アスタリスク(*)は、第三者の商標を示します。

本書のすべての情報は、細心の注意を払って編集されています。しかし、このことは正確性を完全に保証するものではありません。SUSE LLC、その関係者、著者、翻訳者のいずれも誤りまたはその結果に対して一切責任を負いかねます。

A GNU Free Documentation License

Copyright (C) 2000, 2001, 2002 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA. Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

0. PREAMBLE

The purpose of this License is to make a manual, textbook, or other functional and useful document "free" in the sense of freedom: to assure everyone the effective freedom to copy and redistribute it, with or without modifying it, either commercially or non-commercially. Secondarily, this License preserves for the author and publisher a way to get credit for their work, while not being considered responsible for modifications made by others.

This License is a kind of "copyleft", which means that derivative works of the document must themselves be free in the same sense. It complements the GNU General Public License, which is a copyleft license designed for free software.

We have designed this License to use it for manuals for free software, because free software needs free documentation: a free program should come with manuals providing the same freedoms that the software does. But this License is not limited to software manuals; it can be used for any textual work, regardless of subject matter or whether it is published as a printed book. We recommend this License principally for works whose purpose is instruction or reference.

1. APPLICABILITY AND DEFINITIONS

This License applies to any manual or other work, in any medium, that contains a notice placed by the copyright holder saying it can be distributed under the terms of this License. Such a notice grants a world-wide, royalty-free license, unlimited in duration, to use that work under the conditions stated herein. The "Document", below, refers to any such manual or work. Any member of the public is a licensee, and is addressed as "you". You accept the license if you copy, modify or distribute the work in a way requiring permission under copyright law.

A "Modified Version" of the Document means any work containing the Document or a portion of it, either copied verbatim, or with modifications and/or translated into another language.

A "Secondary Section" is a named appendix or a front-matter section of the Document that deals exclusively with the relationship of the publishers or authors of the Document to the Document's overall subject (or to related matters) and contains nothing that could fall directly within that overall subject. (Thus, if the Document is in part a textbook of mathematics, a Secondary Section may not explain any mathematics.) The relationship could be a matter of historical connection with the subject or with related matters, or of legal, commercial, philosophical, ethical or political position regarding them.

The "Invariant Sections" are certain Secondary Sections whose titles are designated, as being those of Invariant Sections, in the notice that says that the Document is released under this License. If a section does not fit the above definition of Secondary then it is not allowed to be designated as Invariant. The Document may contain zero Invariant Sections. If the Document does not identify any Invariant Sections then there are none.

The "Cover Texts" are certain short passages of text that are listed, as Front-Cover Texts or Back-Cover Texts, in the notice that says that the Document is released under this License. A Front-Cover Text may be at most 5 words, and a Back-Cover Text may be at most 25 words.

A "Transparent" copy of the Document means a machine-readable copy, represented in a format whose specification is available to the general public, that is suitable for revising the document straightforwardly with generic text editors or (for images composed of pixels) generic paint programs or (for drawings) some widely available drawing editor, and that is suitable for input to text formatters or for automatic translation to a variety of formats suitable for input to text formatters. A copy made in an otherwise Transparent file format whose markup, or absence of markup, has been arranged to thwart or discourage subsequent modification by readers is not Transparent. An image format is not Transparent if used for any substantial amount of text. A copy that is not "Transparent" is called "Opaque".

Examples of suitable formats for Transparent copies include plain ASCII without markup, Texinfo input format, LaTeX input format, SGML or XML using a publicly available DTD, and standard-conforming simple HTML, PostScript or PDF designed for human modification. Examples of transparent image formats include PNG, XCF and JPG. Opaque formats include proprietary formats that can be read and edited only by proprietary word processors, SGML or XML for which the DTD and/or processing tools are not generally available, and the machine-generated HTML, PostScript or PDF produced by some word processors for output purposes only.

The "Title Page" means, for a printed book, the title page itself, plus such following pages as are needed to hold, legibly, the material this License requires to appear in the title page. For works in formats which do not have any title page as such, "Title Page" means the text near the most prominent appearance of the work's title, preceding the beginning of the body of the text.

A section "Entitled XYZ" means a named subunit of the Document whose title either is precisely XYZ or contains XYZ in parentheses following text that translates XYZ in another language. (Here XYZ stands for a specific section name mentioned below, such as "Acknowledgements", "Dedications", "Endorsements", or "History".) To "Preserve the Title" of such a section when you modify the Document means that it remains a section "Entitled XYZ" according to this definition.

The Document may include Warranty Disclaimers next to the notice which states that this License applies to the Document. These Warranty Disclaimers are considered to be included by reference in this License, but only as regards disclaiming warranties: any other implication that these Warranty Disclaimers may have is void and has no effect on the meaning of this License.

2. VERBATIM COPYING

You may copy and distribute the Document in any medium, either commercially or non-commercially, provided that this License, the copyright notices, and the license notice saying this License applies to the Document are reproduced in all copies, and that you add no other conditions whatsoever to those of this License. You may not use technical measures to obstruct or control the reading or further copying of the copies you make or distribute. However, you may accept compensation in exchange for copies. If you distribute a large enough number of copies you must also follow the conditions in section 3.

You may also lend copies, under the same conditions stated above, and you may publicly display copies.

3. COPYING IN QUANTITY

If you publish printed copies (or copies in media that commonly have printed covers) of the Document, numbering more than 100, and the Document's license notice requires Cover Texts, you must enclose the copies in covers that carry, clearly and legibly, all these Cover Texts: Front-Cover Texts on the front cover, and Back-Cover Texts on the back cover. Both covers must also clearly and legibly identify you as the publisher of these copies. The front cover must present the full title with all words of the title equally prominent and visible. You may add other material on the covers in addition. Copying with changes limited to the covers, as long as they preserve the title of the Document and satisfy these conditions, can be treated as verbatim copying in other respects.

If the required texts for either cover are too voluminous to fit legibly, you should put the first ones listed (as many as fit reasonably) on the actual cover, and continue the rest onto adjacent pages.

If you publish or distribute Opaque copies of the Document numbering more than 100, you must either include a machine-readable Transparent copy along with each Opaque copy, or state in or with each Opaque copy a computer-network location from which the general network-using public has access to download using public-standard network protocols a complete Transparent copy of the Document, free of added material. If you use the latter option, you must take reasonably prudent steps, when you begin distribution of Opaque copies in quantity, to ensure that this Transparent copy will remain thus accessible at the stated location until at least one year after the last time you distribute an Opaque copy (directly or through your agents or retailers) of that edition to the public.

It is requested, but not required, that you contact the authors of the Document well before redistributing any large number of copies, to give them a chance to provide you with an updated version of the Document.

4. MODIFICATIONS

You may copy and distribute a Modified Version of the Document under the conditions of sections 2 and 3 above, provided that you release the Modified Version under precisely this License, with the Modified Version filling the role of the Document, thus licensing distribution and modification of the Modified Version to whoever possesses a copy of it. In addition, you must do these things in the Modified Version:

A. Use in the Title Page (and on the covers, if any) a title distinct from that of the Document, and from those of previous versions (which should, if there were any, be listed in the History section of the Document). You may use the same title as a previous version if the original publisher of that version gives permission.

B. List on the Title Page, as authors, one or more persons or entities responsible for authorship of the modifications in the Modified Version, together with at least five of the principal authors of the Document (all of its principal authors, if it has fewer than five), unless they release you from this requirement.

C. State on the Title page the name of the publisher of the Modified Version, as the publisher.

D. Preserve all the copyright notices of the Document.

E. Add an appropriate copyright notice for your modifications adjacent to the other copyright notices.

F. Include, immediately after the copyright notices, a license notice giving the public permission to use the Modified Version under the terms of this License, in the form shown in the Addendum below.

G. Preserve in that license notice the full lists of Invariant Sections and required Cover Texts given in the Document's license notice.

H. Include an unaltered copy of this License.

I. Preserve the section Entitled "History", Preserve its Title, and add to it an item stating at least the title, year, new authors, and publisher of the Modified Version as given on the Title Page. If there is no section Entitled "History" in the Document, create one stating the title, year, authors, and publisher of the Document as given on its Title Page, then add an item describing the Modified Version as stated in the previous sentence.

J. Preserve the network location, if any, given in the Document for public access to a Transparent copy of the Document, and likewise the network locations given in the Document for previous versions it was based on. These may be placed in the

"History" section. You may omit a network location for a work that was published at least four years before the Document itself, or if the original publisher of the version it refers to gives permission.

K. For any section Entitled "Acknowledgements" or "Dedications", Preserve the Title of the section, and preserve in the section all the substance and tone of each of the contributor acknowledgements and/or dedications given therein.

L. Preserve all the Invariant Sections of the Document, unaltered in their text and in their titles. Section numbers or the equivalent are not considered part of the section titles.

M. Delete any section Entitled "Endorsements". Such a section may not be included in the Modified Version.

N. Do not retitle any existing section to be Entitled "Endorsements" or to conflict in title with any Invariant Section.

O. Preserve any Warranty Disclaimers.

If the Modified Version includes new front-matter sections or appendices that qualify as Secondary Sections and contain no material copied from the Document, you may at your option designate some or all of these sections as invariant. To do this, add their titles to the list of Invariant Sections in the Modified Version's license notice. These titles must be distinct from any other section titles.

You may add a section Entitled "Endorsements", provided it contains nothing but endorsements of your Modified Version by various parties--for example, statements of peer review or that the text has been approved by an organization as the authoritative definition of a standard.

You may add a passage of up to five words as a Front-Cover Text, and a passage of up to 25 words as a Back-Cover Text, to the end of the list of Cover Texts in the Modified Version. Only one passage of Front-Cover Text and one of Back-Cover Text may be added by (or through arrangements made by) any one entity. If the Document already includes a cover text for the same cover, previously added by you or by arrangement made by the same entity you are acting on behalf of, you may not add another; but you may replace the old one, on explicit permission from the previous publisher that added the old one.

The author(s) and publisher(s) of the Document do not by this License give permission to use their names for publicity for or to assert or imply endorsement of any Modified Version.

5. COMBINING DOCUMENTS

You may combine the Document with other documents released under this License, under the terms defined in section 4 above for modified versions, provided that you include in the combination all of the Invariant Sections of all of the original documents, unmodified, and list them all as Invariant Sections of your combined work in its license notice, and that you preserve all their Warranty Disclaimers.

The combined work need only contain one copy of this License, and multiple identical Invariant Sections may be replaced with a single copy. If there are multiple Invariant Sections with the same name but different contents, make the title of each such section unique by adding at the end of it, in parentheses, the name of the original author or publisher of that section if known, or else a unique number. Make the same adjustment to the section titles in the list of Invariant Sections in the license notice of the combined work.

In the combination, you must combine any sections Entitled "History" in the various original documents, forming one section Entitled "History"; likewise combine any sections Entitled "Acknowledgements", and any sections Entitled "Dedications". You must delete all sections Entitled "Endorsements".

6. COLLECTIONS OF DOCUMENTS

You may make a collection consisting of the Document and other documents released under this License, and replace the individual copies of this License in the various documents with a single copy that is included in the collection, provided that you follow the rules of this License for verbatim copying of each of the documents in all other respects.

You may extract a single document from such a collection, and distribute it individually under this License, provided you insert a copy of this License into the extracted document, and follow this License in all other respects regarding verbatim copying of that document.

7. AGGREGATION WITH INDEPENDENT WORKS

A compilation of the Document or its derivatives with other separate and independent documents or works, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the copyright resulting from the compilation is not used to limit the legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. When the Document is included in an aggregate, this License does not apply to the other works in the aggregate which are not themselves derivative works of the Document.

If the Cover Text requirement of section 3 is applicable to these copies of the Document, then if the Document is less than one half of the entire aggregate, the Document's Cover Texts may be placed on covers that bracket the Document within the aggregate, or the electronic equivalent of covers if the Document is in electronic form. Otherwise they must appear on printed covers that bracket the whole aggregate.

8. TRANSLATION

Translation is considered a kind of modification, so you may distribute translations of the Document under the terms of section 4. Replacing Invariant Sections with translations requires special permission from their copyright holders, but you may include translations of some or all Invariant Sections in addition to the original versions of these Invariant Sections. You may include a translation of this License, and all the license notices in the Document, and any Warranty Disclaimers, provided that you also include the original English version of this License and the original versions of those notices and disclaimers. In case of a disagreement between the translation and the original version of this License or a notice or disclaimer, the original version will prevail.

If a section in the Document is Entitled "Acknowledgements", "Dedications", or "History", the requirement (section 4) to Preserve its Title (section 1) will typically require changing the actual title.

9. TERMINATION

You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Document except as expressly provided for under this License. Any other attempt to copy, modify, sublicense or distribute the Document is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

10. FUTURE REVISIONS OF THIS LICENSE

The Free Software Foundation may publish new, revised versions of the GNU Free Documentation License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. See https://www.gnu.org/copyleft/.

Each version of the License is given a distinguishing version number. If the Document specifies that a particular numbered version of this License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that specified version or of any later version that has been published (not as a draft) by the Free Software Foundation. If the Document does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published (not as a draft) by the Free Software Foundation.

ADDENDUM: How to use this License for your documents

```
Copyright (c) YEAR YOUR NAME.
Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document
under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2
or any later version published by the Free Software Foundation;
with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts.
A copy of the license is included in the section entitled “GNU
Free Documentation License”.
```

If you have Invariant Sections, Front-Cover Texts and Back-Cover Texts, replace the “with...Texts” line with this:

```
with the Invariant Sections being LIST THEIR TITLES, with the
Front-Cover Texts being LIST, and with the Back-Cover Texts being LIST.
```

If you have Invariant Sections without Cover Texts, or some other combination of the three, merge those two alternatives to suit the situation.

If your document contains nontrivial examples of program code, we recommend releasing these examples in parallel under your choice of free software license, such as the GNU General Public License, to permit their use in free software.